



平成 25 年 9 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 ビットアイル  
(コード番号 3811・東証 1 部)  
代 表 者 名 代表取締役社長兼 CEO 寺田 航平  
問合せ先責任者 取締役 管理本部長 深井 英夫  
電 話 番 号 03-5782-8723

## 中期経営計画策定に関するお知らせ

### 記

当社は平成24年9月5日に発表をいたしました中期3ヶ年計画(平成25年7月期から平成27年7月期：以下、前計画)を見直すとともに、新たに平成28年7月期を加えた中期3ヶ年計画(平成26年7月期から平成28年7月期：以下、新計画)を策定しましたのでお知らせいたします。

#### 1. 概要

従前のコスト削減を目的としたアウトソーシングニーズに加え、東日本大震災以降の事業継続性の観点、クラウドコンピューティングの拡大、認知科学・ビッグデータの活用、ウェアラブルコンピューターの登場などコンピューターリソースを活用する機会が増加するとともに、データセンターニーズが強く存在しております。

当社は、顧客が大規模なデータセンターでの運用を必要とする分野においては、コロケーションサービスを提供してまいりました。また、スタートアップの企業やサービス、柔軟性が必要とする IT インフラニーズにおいては、クラウドサービスを提供している等顧客ニーズの二極化に対して、積極的に対応を図ってまいりました。

そして、平成 25 年 7 月には東京証券取引所市場第 1 部に上場を果たすとともに、公募増資の結果、自己資本比率の上昇により財務基盤が強化されました。

このような、足元の事業の環境及び進捗を踏まえて、前計画の見直すとともに、下記の主な変更事項を考慮し、新計画を策定いたしました。



- i. 第5データセンターの開設時期につきまして、工事に進捗等を勘案し、平成26年11月に変更する。また、東証1部となりブランド力が強化を背景に積極的な販売を行うことで、大口・OEM案件獲得を目指す。
- ii. 昨年と比較して大幅な円安また中東情勢の影響による電力単価が上昇を想定する。
- iii. 強固な財務基盤と今後生み出されるキャッシュ・フローを基盤に、広島メガソーラーの運営で培ったノウハウを活用した新たな発電所の建設や、一般企業の顧客層拡大のためのM&Aの検討をする。

以上を踏まえ、当社グループは全社一丸となって、今まで以上に高い付加価値を提供できる総合ITアウトソーシング企業へ成長していきたいと考えております。

## 2. 計数計画（単位：百万円、%）

	平成25年 7月期(実績)	平成26年 7月期(計画)	平成27年 7月期(計画)	平成28年 7月期(計画)
売上高	16,663	18,800	21,500	25,000
営業利益	3,068	3,500	4,000	4,600
経常利益	2,745	3,200	3,700	4,300
経常利益率	16.5%	17.0%	17.2%	17.2%

参考：その他の経営指標（単位：百万円、ラック、%）

	平成25年 7月期(実績)	平成26年 7月期(計画)	平成27年 7月期(計画)	平成28年 7月期(計画)
稼動ラック数	4,535	4,835	5,635	6,035
設置可能ラック数	6,079	6,079	7,505	7,505
稼動率	74.6%	79.5%	75.1%	80.4%

減価償却費 (含リース減価償却)	3,427	3,500	3,950	4,400
---------------------	-------	-------	-------	-------

以上

（当資料取り扱い上のご注意）

本リリース記載の将来の業績見通しに関する事項、特にご参考の箇所については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際は今後様々な要因によって記載されている内容と異なる場合があります。